国語科学習指導案（略案）

平成２８年１１月１８日（金）２校時
中学部Ｃグループ　男子３人　女子３人　計６人
場所　中学部１年教室
指導者　上谷芳弘（ＣＴ）　村岡綾（ＳＴ）

１　題材　「物語を読もう」

２　本時の実際（４／８）

⑴　全体目標

登場人物や場面の流れを理解し，赤おにの行動や気持ちを読み取ることができる。

⑵　個人目標

生徒	個人目標
A（1年，男）	物語の登場人物の行動をワークシートにまとめることで整理し，赤おにの心情をいくつかの言葉の中から選択することができる。
B（1年，男）	物語の登場人物の行動をワークシートにまとめることで整理し，赤おにの心情を短い言葉で考えることができる。
C（1年，女）	文章や挿絵を基に，登場人物の行動について考えることで，その行動や場面のつながりなどから赤おにの心情について理解することができる。
D（2年，男）	登場人物の行動についてをワークシートにまとめることで，赤おにの心情を短い文で答えることができる。
E（3年，男）	登場人物の行動についてワークシートにまとめることで，いくつかの言葉の中から登場人物の心情に合った言葉を選択することができる。
F（3年，女）	登場人物の行動について考えることで，場面の変化や行動から変化する登場人物の気持ちについて考えることができる。

⑶　指導及び支援に当たって

前時までに生徒たちは，ないた赤おにの第五場面までの読み取りを通して，登場人物の行動や，それに伴う心情の変化を捉えることができるようなってきており，次の場面に対してどんな話なのかを期待する様子も見られるようになってきている。

そこで本時では，ないた赤おにの第六場面の読み取りを行う学習を通して，登場人物の行動を整理するとともに，心情についての理解を深めることができるようにしたい。

＜導入＞

・　前時までに学習した内容を，ワークシートを見ながら振り返ることで，本時で学習する第六場面の内容とこれまでに学習した内容をつなげて考えることができるようにする。基　思・判

・　めあてを声に出して読むことで，本時で学ぶ内容について知り，見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。基

＜展開＞

・　場面ごとの内容の読み取りについては，登場人物の行動をワークシートに絵や文でまとめることで心情について理解することができるようにする。思・判　表

・　登場人物の心情理解については，第六場面の内容とともに，前時まで読み取った登場人物の気持ちについてを場面ごとにホワイトボードに掲示することで，心情の変化についても考えることができるようにする。思・判

・　実態に応じて，文章だけでなく挿絵を参考にしたり，第六場面の内容を動作化したりしながら登場人物の行動や心情について考えることができるようにする。思・判　表

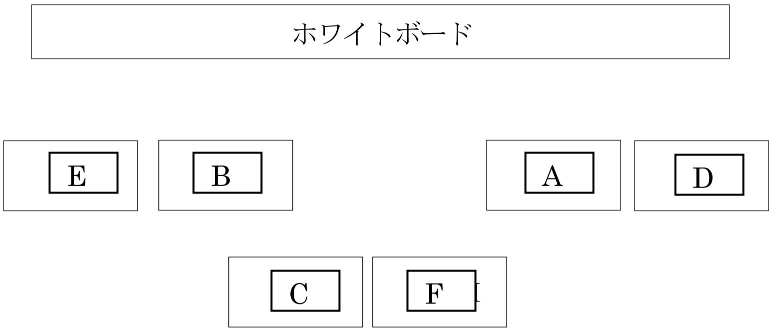
＜終末＞

・　第六場面の登場人物の心情について，確認を行うとともに，次時の内容についても話を行うことで次時に向けての期待感・関心を高められるようにする。

(4)　実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (10 分)	1　始めの挨拶をする。 2　前時までの振り返りをする。 ・　前時までにまとめたワークシートを見ながら，登場人物の行動や心情についての振り返りを行う。 3　めあての確認をする。 ［赤おには，どうして泣いたのだろう。］	・　挨拶をする生徒に注目するように言葉掛けすることで，本時の学習が始まるという意識を高めることができるようにする。 ・　前時までに使用したワークシートを用いて，前場面までの赤おにの気持ちについて振り返ることができるようにする。 ・　六場面の挿絵から赤おにの泣いている様子を言葉にし，めあてへとつなげられるようにする。 ・　どんな時に泣くのかについてを生徒に確認することで，めあてへの課題意識を高められるようにする。	 ・　ワークシート
展開 (35 分)	4　音読をする。 5　登場人物の行動や手紙の内容について，ワークシートを使ってまとめる。 6　六場面の登場人物の行動を基に，赤おにの気持ちについて考える。 7　赤おにの気持ちになって，文章中の青おにへの言葉を読む。 8　読み取った赤おにの気持ちについて発表する。	・　それぞれの生徒が自分の速さで音読を行うことができるように言葉掛けを行う。 ・　生徒C. D. Fに対しては，登場人物の行動を記述式でまとめるもの，生徒A. B. Eに対しては，一部を抜き出してまとめるものを準備し，生徒が自分で考え，登場人物の行動を振り返ることができるようにする。 ・　心情理解については，第六場面の登場人物の行動を基に考えたり，挿絵を基に考えたりすることができるように言葉掛けを行う。 ・　赤おにの気持ちになって青おにへの言葉を掛けるかは，体全体での表現も加えながら発表することができるようにする。 ・　岩の戸や，青おにの手紙を準備することで場面中の赤おにの気持ちをより理解することができるようにする。 ・　赤おにの気持ちを発表する際は，発表する際の声の大きさや，聞く側の姿勢についても意識できるように言葉掛けを行う。	・　教材文 ・　ワークシート ・　青おにの手紙 ・　岩の戸
終末 (5 分)	9　本時の振り返りをする。 10　終わりの挨拶をする。	・　本時の振り返りとともに，次時の内容についても触れ，次時への期待感を高める。	

⑸　場の設定



⑹　評価

ア　全体目標

登場人物や場面の流れを理解し，赤おにの行動や気持ちを読み取ることができたか。

イ　個人目標

生徒	個人目標
A （１年，男）	物語の登場人物の行動をワークシートにまとめることで整理し，赤おにの心情をいくつかの言葉の中から選択することができたか。
B （１年，男）	物語の登場人物の行動をワークシートにまとめることで整理し，赤おにの心情を短い言葉で考えることができたか。
C （１年，女）	文章や挿絵を基に，登場人物の行動について考えることで，その行動や場面のつながりなどから赤おにの心情について理解することができたか。
D （２年，男）	登場人物の行動についてワークシートにまとめることで，赤おにの心情を短い文で答えることができたか。
E （３年，男）	登場人物の行動についてワークシートにまとめることで，いくつかの言葉の中から登場人物の心情に合った言葉を選択することができたか。
F （３年，女）	登場人物の行動について考えることで，場面の変化や行動から変化する登場人物の気持ちについて考えることができたか。

授業計画シート（ver.4）

学部	教科等名	学習集団（グループ名等）	題材名	総時数（実施時期）
小・中・高	国語	Cグループ	物語を読もう	8時間（11・12月）

題材の全体目標
ア　物語の登場人物や場面の流れを整理したり，感想を発表したりすることで，物語の内容を読み取ることができる。
イ　物語の中の自分の好きな場面を登場人物の心情を考えながら読むことで，物語への理解を深めることができる。

児童生徒名	個人目標	児童生徒名	個人目標
A	ア　物語の登場人物の行動や気持ちを場面ごとに短い文で書いて並べ，好きな場面を選ぶことができる。 イ　物語の中の好きな場面を聞く人に伝えるようにゆっくりと大きな声で読み聞かせをすることで，物語への理解を深めることができる。	E	ア　物語の登場人物の行動や気持ちを場面ごとに短い文に書いて並べ，登場人物の行動で好きな場面を選ぶことができる。 イ　物語の中の担当した場面を登場人物になった気持ちになって読み聞かせをすることで，物語への理解を深めることができる。
B	ア　物語の登場人物の行動や気持ちを場面ごとに短い文で書いて並べ，登場人物の気持ちを考えて好きな場面を選ぶことができる。 イ　物語の中の好きな場面を聞く人に登場人物の気持ちを伝えるように読み聞かせをすること登場人物の心情理解を深めることができる。	F	ア　物語の登場人物や場面の流れを理解し，登場人物の気持ちを考えて感想を発表することで，登場人物の気持ちの変化を理解することができる。 イ　物語の中の担当した場面を登場人物の感情を豊かに表現しながら読み聞かせをすることで，物語への理解を深めることができる。
C	ア　物語の登場人物や場面の流れを理解し，登場人物の行動や気持ちを読み取り，登場人物の気持ちになって感想を書いて発表することができる。 イ　物語の中の好きな場面を聞く人に登場人物の気持ちが伝わるように読み聞かせをすることで，登場人物の心情を理解することができる。		
D	ア　物語の登場人物や場面の流れを理解し，感想を書いて発表することで，登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。 イ　物語の中の好きな場面の情景を表現豊かに伝えることを意識して読み聞かせをすることで，登場人物の行動や心情の理解を深めることができる。		

指導計画

指導内容＜基礎・基本＞ 記入例：【書く：小ー3】単語を組み合わせ，主語と修飾語，述語を整えて文を作る。（全員）	次	時数	学習活動 ＜思考力・判断力・表現力／人間関係／主体性　を育む視点＞　※学習活動の後に該当する番号を記入する ①　学習した知識や技能を主体的に使う ／ ②自分の考えを主体的に表現する ／ ③主体的に友達と協力・協働する	他教科等との関連 教科等/単元・題材/主な学習活動・内容
【読む・書く：小ー3】　小学２年生で習う漢字を読んだり書いたりする。（全員） 【読む:小ー3，話す:小ー2】　物語の登場人物を挙げる。（全員） 【聞く：小ー3】　物語に何が書かれているか、話のあらましが分かる。（A，B，E） 【聞く：中】　物語の話のおおよその内容を聞き取る。（C，D，F） 【読む：中】　物語の文を正しく音読することができる。（全員） 【書く：中】　物語の登場人物の行動や気持ちなどの内容を読み取る。（A，B，E） 【書く：中】　物語の登場人物の行動や気持ちなどの変化を読み取る。（C，D，F） 【書く：中，話す：中】　物語の感想として，主語，述語，補語を使って文を書いて発表する。（A，B，E） 【書く：中，話す：中】　物語の感想を順序立てた文で書いて発表する。（C，D，F）	一	6	1　物語「ないた赤おに」を読んで，何について書いてあるか考える。 (1)　教師の範読を聞いて，登場人物を挙げる。【②】 (2)　好きな場面と（必要に応じて）その理由を挙げる。【②】 2　物語の場面ごとに登場人物の行動と気持ちを読み取る。 (1)　物語の場面ごとに登場人物の行動を読み取る。【①】， (2)　物語の場面ごとに登場人物の気持ちを読み取る。【①，②】 (3)　物語の場面の変化や登場人物の気持ちの変化を読み取る。【①，②】 3　物語の感想を書いて発表する。 (1)　物語の感想を書く。【②，③】 (2)　物語の感想を発表する。【②，③】	総合的な学習の時間 「働くことについて考えよう」 →　調べた内容を友達に伝わりやすいように発表する。
【読む・書く：小ー3】　小学２年生で習う漢字を読んだり書いたりする。（全員） 【聞く：小ー3】　物語の担当した場面に何が書かれているか，話のあらましが分かる。（A，B，E） 【聞く：中】　物語の各場面に何が書かれているか，あらましが分かる。（C，D，F） 【読む：中】　物語の文を正しく暗唱する。（全員） 【読む：中】　物語の登場人物の気持ちや情景を読み取り，それを表現しながら読む。（全員） 【書く：中，話す：中】　読み聞かせをした感想を書いて発表する。（全員）	二	2	1　物語「ないた赤おに」の絵本の読み聞かせをする。 (1)　自分が好きな場面を選ぶ。【①】 (2)　自分が選んだ場面の登場人物の心情を考え，読み聞かせの練習をする。【③】 2　作成した絵本「ないた赤おに」の読み聞かせを発表する。 (1)　自分の好きな場面の読み聞かせをする。【③】 (2)　絵本を作成して読み聞かせをした感想を書く。【②】	生活単元学習 「みんなで出掛けよう」 →　自分で目的地や，買いたい物を決め，買い物をすることができる

＜年間指導計画との関連＞
○基にした年間指導計画　＜記入例：小・国（○段階）「単元・題材名」＞ 中・国（４段階）「物語を読もう」

＜実施時期や時数に関する評価＞	
○実施時期 適　当　・　要検討 （　　　　　　　　　　　　頃）	○必要と思われる時数 適　当　・　要検討 （　　　　時間程度必要）

ミーティング	授業研究会
＜例：○／（総時数）＞	＜例：○／（総時数）＞